

注目を集める猪名荘遺跡、最新の成果を紹介!!

「猪名荘遺跡を学ぶ会」学習会のご案内

日 時：1997年11月29日（土）午後1時30分～4時30分
会 場：尼崎市潮江公民館（JR尼崎駅北口下車、北へ徒歩5分）
尼崎市潮江2丁目4-40、TEL 06-499-0848）
報 告：田中文英氏（大阪女子大学）
「猪名荘の歴史について」
渡辺 昇氏（兵庫県埋蔵文化財調査事務所）
岡田 務氏（尼崎市文化財収蔵庫）
「猪名荘遺跡の発掘調査の成果について」

参 加：どなたでも自由にご参加ください。参加料無料。

私たち史料ネットは、昨秋以来、「被災地の遺跡を考える見学会」と銘打って、市民・住民の方々とともに震災被災地域の様々な遺跡を継続的に訪れ、それをめぐる現状についての認識を深めてきました。「猪名荘遺跡」も、「見学会」がとりあげた遺跡のひとつで、東大寺の荘園に関連した施設跡と想定される柱穴等が発見され、新聞誌上でも報道されたことはご存じのとおりです。この「学習会」は、「見学会」もひとつのきっかけとなって、遺跡のある尼崎市潮江地区の住民・市民の方々の集まりである「猪名荘遺跡を学ぶ会」とともにおこなうものです。残念ながら、遺跡じたいは地区の復興事業との関係で埋め戻されてしまいましたが、「学ぶ会」は、潮江の新しいまちづくりのなかで、発掘調査を通じて明らかにされてきた猪名荘遺跡についての記録・情報を何らかのかたちで具体的に生かし、遺跡を地域全体の記憶とし財産としていきたい、そのようなかたちでの遺跡の「保存」を実現させたいという思いから発足しました。今回の学習会の趣旨は、そのため

の足がかりとして、まずは遺跡じたいの具体的な

様相とその歴史的意義についての理解・認識をより深め、また地域内外に広めていこうというものです。当日は、文献史の側から猪名荘の歴史的意義を、潮江地域の特色・特性との関連で大阪女子大の田中文英さんからお話しいただくとともに、発掘の現場からということで、兵庫県教委の渡辺昇さん、尼崎市教委の岡田務さんのお二方に、発掘調査のなかで発見された遺物の公開・遺跡のスライドの上映を含めたお話をいただくことになっています。思えば、「被災地の遺跡を考える見学会」は、住民・市民の方々と、在野の研究者、発掘調査・文化財行政の相互の間を連絡しつつ被災地の遺跡のあり様を認識し、そのなかから遺跡保存の道をなにごしかのかたちで見いだしていきたいという趣旨で続けてきました。その意味で、今回の学習会と今後も引き続いていくであろう「学ぶ会」との連携活動は、まさに「見学会」の一環であり、「見学会」が趣旨どおりに発展したかたちとして位置づけることができるでしょう。皆さま、積極的にご参加ください。（文責・井上勝博）

— φ — φ — φ — φ — φ — φ — φ — φ — φ —

■ “News Letter” 郵送購読受付のお知らせ

1997年度の郵送購読申込みを受け付けます。ご希望の方は送料500円を添えてお申し込み下さい。
◇振込口座 郵便振替 01090-7-23009 名義 阪神大震災対策歴史学会連絡会
◆募金口座と同じ口座ですので、かならず「“News Letter” 郵送購読希望」と明記してください。
募金と同時に振り込まれる場合は「“News Letter” 郵送購読料含む」と明記してください。

史料ネット NEWS LETTER No. 10 1997.10.27 (月)
編集・発行 歴史資料ネットワーク 〒657 神戸市灘区六甲台町1-1
神戸大学文学部内 TEL. 078-881-1212 (内線4079)
FAX. 078-803-0486 e-mail yfujita@lit.kobe-u.ac.jp